

主任教授からのメッセージ

関西医大脳神経内科は、各々の特性やライフステージに合わせて、大学（研究）、附属病院（神経救急疾患・変性疾患を中心）、総合医療センター（神経免疫疾患を中心）での職場選択が可能です。私は女性医師の皆さんのキャリア形成を強く応援しますので、是非ご相談ください。

○ 診療科の特徴

当科のスローガンは、「救急から難病まで神経疾患を網羅する」であります。事実、扱う疾患は脳卒中、てんかん、神経変性疾患、認知症疾患、神経免疫疾患など多彩です。北河内医療圏随一の網羅的な脳神経内科医療を展開しています。

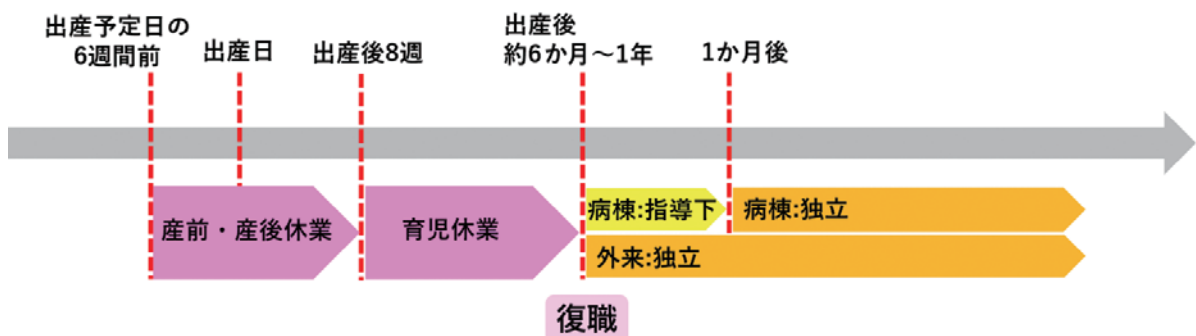
○ 診療科で働く女性医師

当講座では、女性医師8名が在籍しています（附属病院5名、総合医療センター3名）。このうち、子育て女性医師は4名で、フルタイム・当直免除が1名、短時間勤務が1名、大学院生が1名、非常勤勤務が1名とそれぞれのライフスタイルに合わせて在籍しています。

職場復帰への取り組みについて

○ 復帰までの道のり

復帰の1例（専門研修終了後に休職の場合）



経験年数やブランク期間などにより対応は異なりますが、非常勤勤務・短時間勤務からフルタイム勤務まで様々な勤務体系を状況に合わせて相談の上、復帰をサポートします。

○ 研修内容

経験年数・ブランク期間、家庭の環境、個人の希望などにより勤務形態や必要な研修が異なるため、基本的には研修内容は個別対応となります。

外来業務、検査、救急対応については、短時間勤務や非常勤勤務でも無理なく開始できます。もちろん希望があれば病棟業務も可能です。上級医が責任をもって指導にあたります。

○ 女性医師キャリア形成支援担当医師からのメッセージ

私達女性医師にとって脳神経内科はキャリア形成がしやすい診療科だと思います。結婚・出産・育児などのライフイベントはキャリアに大きな影響を与え、生活環境も大きく変化します。仕事と家庭の両立については、当科では個々の状況に合わせて、勤務形態・勤務内容を事前に話し合った上での復職となり、これまでは非常勤勤務や短時間勤務での外来業務や検査のみから、フルタイムでの病棟業務まで、柔軟に対応しております。まずはお気軽に当科へ連絡・ご相談ください。

体験談 (H 先生)

出産後4か月で、年度途中で総合医療センターに復職しました。復職時は卒後11年目でしたが、出産した年を最終年度として4年間大学院に戻っていましたので、外来診療以外は4年半ぶりの実地勤務でした。不安なことも多かったのですが、科内の先生方から診療や検査、実務面まで丁寧にご指導をいただき、大変安心して診療にあたることができました。また前任の先生が最初の1か月間オーバーラップする形で残留くださり、救急対応や外来をその間免除いただきました。当初は慣らし保育などで不在にすることも多く、非常に助かりました。また通勤時間が長く、保育園の開園時間との兼ね合いで勤務時間外の対応が難しかったのですが、時間ギリギリの救急対応など、科内の先生や診療スタッフが快くサポートしてくださったことも継続できた大きな要因と思います。

また臨床面でも、大学病院・関連病院ということで、変性疾患や免疫疾患など比較的頻度の高いものから希少疾患、また神経救急まで、限られた時間の中でも幅広く経験することができ、勉強になり、やりがいも感じることができました。

当科は手技が少ないですが、そのためブランクがあっても復職しやすいように思いますし、多様な働き方が可能です。また周囲の先生やスタッフの方々のサポートのおかげで、出産育児も楽しみながら勤務しています。女性医師も働きやすく、是非ご一考いただきたいおすすめの教室であると思います。

体験談 (M 先生)

現在は卒後11年目で2人(2歳・4歳)の子育てをしながら週3日の短時間勤務をしています。第一子の出産は大学院在学中に産後5か月で復職し、徐々に日数を増やしながら1年後には週5-6/日のペースで研究や外来業務や救急対応と月1回の日直を再開しました。二人目は大学院卒業の時期に出産し、産後5か月に非常勤として復職、勤務をしながら上司と相談の上、女性医師支援の短時間勤務正職員制度を利用させていただき勤務を続けています。状況や希望に合わせた働き方を考慮していただき復職への不安が減りましたし、勤務してからも働き方の変更が可能であった点も、子育てと両立して働きやすい環境だと思います。キャリアに関しては、幸い専門医は第一子出産の直前であったためブランクなく受けることができ、学位に関しても出産・育児で研究の中断はありましたが、先生方の指導の下、取得することができました。現在は外来業務、検査や急患対応等を行っておりますが、子供の急な発熱時や帰宅に伴う業務の引継ぎなど職場の先生方のサポートに支えられ、仕事を続けています。附属病院の脳神経内科では、認知症・頭痛などのcommon diseaseから希少疾患、救急疾患など多くの経験を積むことができ、臨床も興味深く非常にやりがいがあり、私自身は興味のある研究分野の研鑽も積ませていただいています。

もし復職に悩んでいる方がいらっしゃれば、まずは行動してみる事をお勧めします。職場から離れていると復職の前には大きな壁が立ちただかっているように感じますが、復職してみれば様々なサポートに助けられながら、意外とどうにかなるものです。神経内科に興味があるようでしたら、ぜひ一度連絡をしてみてください。



外来診察



筋生検の様子